

第53回

明治大学中央図書館企画展示

新世界文学名作選⑨
ぱしゅメロス
Go shopping Melos!



新世界文学名作選⑩
アーム状
Something like An Arm



がってんだっ

新撰、文庫版世界文学全集第二十回配本
今なお若者たちに夢と希望をもたらし続ける
「はじめてのおつかい」の物語。

新世界文学名作選①
罪と摸
Crime and a Tapir



ただ1本のパンのために

新撰、文庫版世界文学全集第三回配本
フランス中が慟哭。魂を揺さぶる大河ミステリー。

何をした!?

新撰、文庫版世界文学全集第一回配本
各界で物議を醸した衝撃の問題作。

新世界文学
ヒルマの
The Gamble in the Day



高木 亮個展

「きりえや偽本大全」

(きりえによる名作文学パロディの世界)

会場：明治大学中央図書館 1F ギャラリー

会期：2014年5月13日(火)～6月29日(日)

休館：5月30日(金)

「きりえや偽本大全～きりえによる名作文学パロディの世界～」 開催にあたって

きりえ作家の高木亮氏は、「きりえや」の名前でも知られています。制作の主体はきりえによる叙情的な風景画ですが、その一方でパロディ色豊かな作品も数多く手がけられています。

今回紹介する「偽本」とは、「着けるだけで別の本に見せてしまう」というコンセプトで制作されたブックカバーシリーズの総称で、高木氏のパロディ作品に於ける代表作と言ってよいものです。

「偽本」は、名作文学を題材にしたパロディです。絵とタイトル文字、裏表紙につけたアイコンがきりえで作られています。実在する本らしく見せるため、裏表紙の帯に虚構のあらすじを載せることで「読んで楽しめる」作品に仕上げられています。

「偽本」は、もともと書店でオリジナルブックカバー展を行なった際に制作した作品の一つでしたが、好評を博してシリーズ化されました。

「偽本」のシリーズ作品は、2011年までに80点が制作されました。今回は、新作20点を加え全100点の全貌をきりえ原画や解説パネルで紹介します。

ちなみに高木氏の「偽本」シリーズを元に『新潮45』誌上で「切り絵パロディ・新世界文学名作選」(2011～2013)が連載されました。2012年からは姉妹編となる映画パロディシリーズの制作を始め、こちらも「切り絵パロディ・贋作名画大全」として『新潮45』に現在連載中です。

“かわいくて、おかしくて、でもちょっとだけ寂しい”きりえ世界は、思わず“くすっと微笑んでしまう”心温まる世界でもあります。

本展示では、「偽本」とともに、パロディ元になった名作文学の原作も同時に紹介します。高木氏のきりえ世界をご堪能いただくとともに、原作がかもし出す文学的世界にも親しんでいただければ幸いです。

明治大学図書館





photo 岩本竜典

高木 亮(たかぎ りょう)

きりえ画家。作家。

1971年香川県生まれ。神奈川県川崎市在住。

大学在学中独学にてきりえ制作を開始。のち「きりえや」を名乗る。ポストカードやカレンダー等グッズ制作、個展や各種メディアを通じて作品を発表。きりえの技術も元にして生み出される「かわいくて、おかしくて、ちょっとだけ寂しい」その世界が注目を集めている。

日本ことわざ文化学会会員。

ホームページ <http://kirieya.com/>

〈連載〉

- ・「新潮45・扉絵」きりえ(2012～／「新潮45」新潮社)
- ・「切り絵パロディ・贋作名画大全」きりえ・文(2013～／「新潮45」新潮社)
- ・「スナバン」キャラクター4コマ(2010～／ビーナイスサイト上で週刊連載)

〈著書〉

- ・「スナバン1～4」(2010～／ビーナイス)
- ・きりえ画文集「ユメとバルーン」(2012／ビーナイス)
- ・「はじめてでも簡単 たのしい切り絵レッスン」(2012／家の光協会)
- ・きりえクリスマスブック「ピリーザトナカイ1・2」(2013／ビーナイス)
- ・きりえ画文集「ユメとバルーン いつもの坂道」(2014／ビーナイス)

〈他〉

- ・「ティックの大冒険」きりえ4コマ(2007～2011／「月刊まんがライフ」竹書房)
- ・「うさぎ」挿絵(2011／教育出版・平成23年度版教科書「小学3年・音楽」)
- ・藍坊主「ヒロシゲブルー」CDジャケット用きりえ(2004／TOY'S FACTORY)
- ・「コラボTシャツ」デザイン・きりえ(2004／TK TAKEO KIKUCHI)
- ・満寿屋ノート「MONOKAKI」飾り罫デザイン・きりえ(2010／満寿屋)
- ・「切り絵パロディ・新世界文学名作選」きりえ・文(2011～13／「新潮45」新潮社連載)
- ・「日々これきりえ」きりえ・文(2013／「しんぶん赤旗朝刊」連載・全12回)

〈個展〉

- ・ギャラリー元町(横浜:2001-11)
- ・オリオン書房ノルテ店(立川:2005-12)
- ・「高木亮 きりえの世界展」東武百貨店池袋店 美術画廊絵画サロン(2012)
- ・「風吹く街で」東急百貨店吉祥寺店2階テラス(2012)
- ・高木亮「切り絵」と笑い 明治大学中央図書館ギャラリー(2012)
- ・「高木亮きりえ展」 BunkamuraBoxGallery(2013)
- ・「あの角を曲がれば」東急百貨店吉祥寺店2階テラス(2013)

他

高木亮個展 「きりえや偽本大全 ～きりえによる名作文学パロディの世界」 出展リスト

展示番号	作品タイトル (製作年)	元本題名	元本作者名
1	罪と猿 (2008)	罪と罰	ドストエフスキー
2	老人と久美 (2008)	老人と海	アーネスト・ヘミングウェイ
3	長靴をかいた猫 (2008)	長靴をはいた猫	シャルル・ペロー
4	ヒルマの賭事 (2009)	ヒルマの竖琴	竹山道雄
5	ファースト (2009)	ファウスト	ゲーテ
6	リチャードさんせい (2009)	リチャード三世	ウィリアム・シェイクスピア
7	からしがおおか (2009)	嵐が丘	エミリー・ブロンテ
8	赤い盗賊と人魚 (2009)	赤い蠟燭と人魚	小川未明
9	蟹光線 (2010)	蟹工船	小林多喜二
10	ジキル博士と毎年 (2010)	ジキル博士とハイド氏	ステューヴンソン
11	アーム状 (2010)	ああ無情 (レ・ミゼラブル)	ビクトル・ユーゴー
12	失われた土器をもとめて (2010)	失われた時を求めて	マルセル・ブルースト
13	王子と叔父貴 (2010)	王子と乞食	マーク・トウェイン
14	やもめのジョナさん (2010)	かもめのジョナサン	リチャード・バック
15	そして誰もいなくなかった (2010)	そして誰もいなくなかった	アガサ・クリスティ
16	ジョニーは銭湯に行った (2011)	ジョニーは戦場へ行った	ドルトン・トランボ
17	夜鷹の星 (2011)	よだかの星	宮沢賢治
18	人間ひっかく (2011)	人間失格	太宰治
19	ツアラトウストラは頭が立った (2011)	ツアラトウストラはこう語った	フリードリヒ・ニーチェ
20	ばしれメロス (2011)	走れメロス	太宰治
21	カラマーゾフの正体 (2011)	カラマーゾフの兄弟	フョードル・ドストエフスキー
22	若きテルテルの悩み (2011)	若きウェルテルの悩み	ゲーテ
23	おじいさんの乱舞 (2011)	おじいさんのランブ	新美南吉
24	ゴーヤいじり (2011)	高野聖	泉鏡花
25	代打赤鬼 (2011)	泣いた赤鬼	浜田廣介
26	父、かえる (2011)	父帰る	菊池寛
27	こっ...コ口。 (2011)	こころ	夏目漱石
28	ライ麦畑でつかまえて (2011)	ライ麦畑でつかまえて	J・D・サリンジャー
29	坂の上の相撲 (2014)	坂の上の雲	司馬遼太郎
30	羊をめぐる暴言 (2014)	羊をめぐる冒険	村上春樹
31	アンナ、カレーにな... (2013)	アンナ・カレーニナ	トルストイ
32	美女と柳生 (2008)	美女と野獣	ポーモン夫人
33	エデンの干菓子 (2009)	エデンの東	スタインベック
34	伊豆のホドリゴ (2009)	伊豆の踊子	川端康成
35	垢と風呂 (2010)	赤と黒	スタンダール
36	二十日鼠と信玄 (2010)	二十日鼠と人間	スタインベック
37	首輪物語 (2010)	指輪物語	J・R・R・トールキン
38	ぼっちゃん (2010)	坊っちゃん	夏目漱石
39	怒りの武道 (2010)	怒りの葡萄	スタインベック
40	任侠の家 (2010)	人形の家	イブセン
41	カールメン (2010)	カルメン	プロスペル・メリメ
42	ネクタイの悪魔 (2010)	肉体の悪魔	ラディゲ
43	羊たちの親睦 (2010)	羊たちの沈黙	ジェームズ・F・クーパー
44	トムソーヤーの猛犬 (2010)	トム・ソーヤーの冒険	マーク・トウェイン
45	ハックルベリーフィンの剛剣 (2010)	ハックルベリー・フィンの冒険	マーク・トウェイン
46	モヒカン族の迷子 (2010)	モヒカン族の最後	トマス・ハリス
47	迷子の一葉 (2010)	最後の一葉	オー・ヘンリー
48	全ての美しい熊 (2010)	全ての美しい馬	コーマック・マッカーシー
49	誰がために羽は鳴る (2010)	誰がために鐘は鳴る	アーネスト・ヘミングウェイ
50	郵便配達是非常ベルを鳴らす (2010)	郵便配達は二度ベルを鳴らす	ジェームズ・M・ケイン
51	オリバー・ツイスト (2010)	オリバー・ツイスト	チャールズ・ディケンズ
52	長距離走者の小六 (2010)	長距離走者の孤独	アラン・シリトー
53	十五少年放流記 (2010)	十五少年漂流記	ジュール・ヴェルヌ
54	恐るべき子どもたち (2010)	恐るべき子供たち	ジャン・コクトー
55	アンクル・トムのホヤ (2010)	アンクルトムの小屋	ストウ夫人
56	ブリキの舞子 (2011)	ブリキの太鼓	ギュンター・グラス
57	ゼンダ城のホドリゴ (2011)	ゼンダ城の虜	アンソニー・ホープ
58	銭湯の犬たち (2011)	戦場の犬たち	フレデリック・フォーサイス

展示番号	作品タイトル (製作年)	元本題名	元本作者名
59	シャリの下 (2011)	車輪の下	ヘルマン・ヘッセ
60	草食五人女 (2011)	好色五人女	井原西鶴
61	魔の海女 (2011)	魔の山	トーマス・マン
62	星の叔父さま (2011)	星の王子様	サン・テグジュペリ
63	夜間尾行 (2011)	夜間飛行	サン・テグジュペリ
64	裸のパンチ (2011)	裸のランチ	ウィリアム・パロウズ
65	つかる (2011)	津軽	太宰治
66	非はまたのぼる (2011)	日はまた昇る	アーネスト・ヘミングウェイ
67	白いシバ (2011)	白い牙	ジャック・ロンドン
68	ハワーズ・エンド (2011)	ハワーズ・エンド	E・M・フォースター
69	ジャングル・ブック (2011)	ジャングル・ブック	ラドヤード・キップリング
70	オペラ座のタイ人 (2011)	オペラ座の怪人	ガストン・ルルー
71	タイ人20連勝 (2011)	怪人二十面相	江戸川乱歩
72	シャーロック・ホームズの動転 (2011)	シャーロック・ホームズの冒険	コナン・ドイル
73	犬を連れてたボクサー (2011)	犬を連れてた奥さん	アントン・チェーホフ
74	オオカミと七匹のおやじ (2011)	おおかみと七ひきの子やぎ	グリム童話
75	高慢と弁慶 (2011)	高慢と偏見	ジェーン・オースティン
76	桃家老 (2011)	桃太郎	作者不詳 (日本昔話)
77	金家老 (2011)	金太郎	作者不詳 (日本昔話)
78	はしたない物語 (2011)	はてしない物語	ミヒヤエル・エンデ
79	ベニスの上忍 (2011)	ヴェニスの商人	W・シェークスピア
80	我が輩はペコである (2011)	我が輩は猫である	夏目漱石
81	3匹のこぶら (2011)	三匹の子豚	作者不詳 (おとぎ話)
82	おおきなこぶ (2011)	おおきなかぶ	作者不詳 (ロシア民話)
83	幸福の大叔父 (2011)	幸福の王子	オスカー・ワイルド
84	おーい成井さん (2014)	大いなる遺産	チャールズ・ディケンズ
85	ぼくの細道 (2014)	奥の細道	松尾芭蕉
86	赤影のアン (2013)	赤毛のアン	モンゴメリ
87	母をたずねて三千人 (2013)	母をたずねて三千里〜「クオレ」より	エドモンド・デ・アミーチス
88	黄金球 (2014)	黄金虫	エドガー・アラン・ポー
89	金色打者 (2014)	金色夜叉	尾崎紅葉
90	イワンのはか (2013)	イワンの馬鹿	トルストイ
91	ロビンソン恐竜記 (2013)	ロビンソン漂流記	ダニエル・デフォー
92	少年探偵ダン (2014)	少年探偵団	江戸川乱歩
93	アルジャーノンにはなたを (2014)	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス
94	三倍のお札 (2014)	三枚のお札	作者不詳 (日本昔話)
95	空海のブーケ (2014)	空海の風景	司馬遼太郎
96	最低2万はいる (2014)	海底2万里	ジュール・ヴェルヌ
97	風林花果山 (2014)	風林火山	井上靖
98	すごい空 (2014)	恋空	美嘉
99	不美人そう (2014)	虞美人草	夏目漱石
100	二兎物語 (2014)	二都物語	チャールズ・ディケンズ

101	(きりえ原画) 「罪と獲」 (2014)
102	(きりえ原画) 「アーム状」 (2014)
103	(きりえ原画) 「ばしれメロス」 (2014)
104	(きりえ原画) 「ノーサイド」 (2014)
105	(きりえ原画) 「望郷」 (2012)
106	(きりえ原画) 「藤」 (2010)
107	(きりえ原画) 「薦」 (2013)
108	偽本使用原画 (2008~2014)

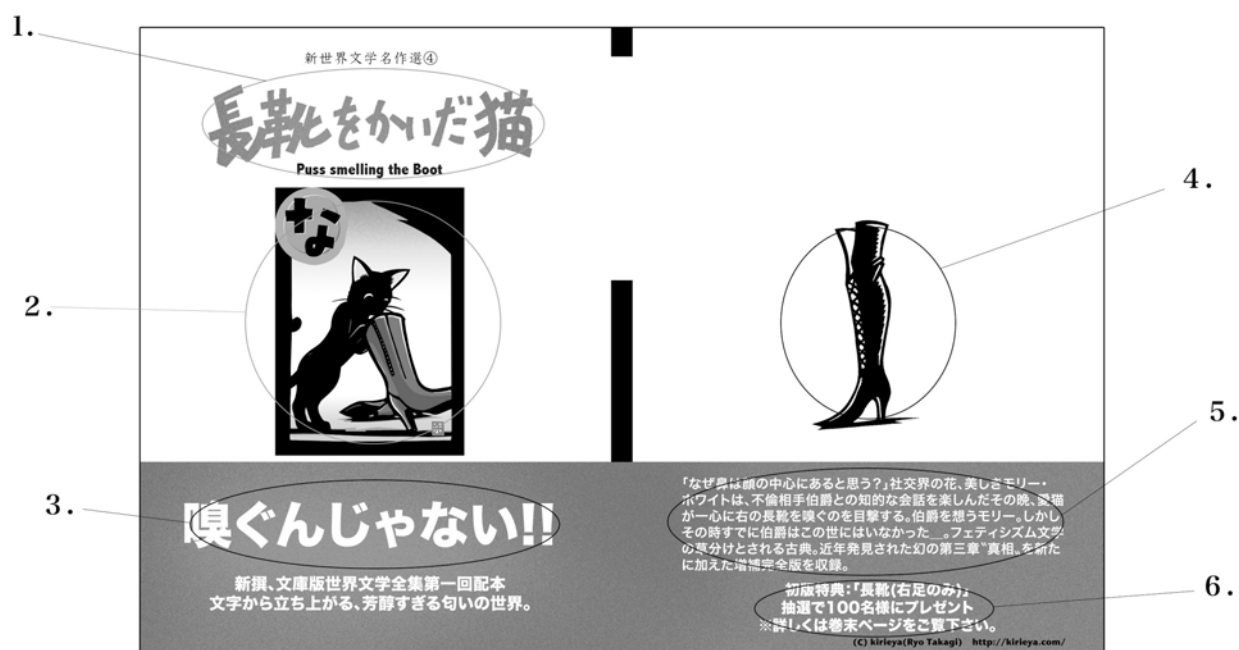


〈オリジナル（ブックカバー）の構成〉

「偽本」とは、高木氏が制作し続けている文学パロディ作品シリーズの総称です。もともと書店でオリジナルブックカバー(書皮)展を行った際「着せれば別の本に見えてしまう偽装書皮」として発表したものでしたが、好評を受けシリーズ化されました。

元がブックカバーだったため中身は存在せず、映画に例えると「予告編やチラシ・ポスターだけの作品」のような特殊な形態をとっています。

「実在する本らしく見せかけるため」裏表紙の帯部分すべてにうそのあらすじを載せ「読んで楽しめる」作品になっているのが一番の特徴ですが、他にも様々な要素を掛け合わせその相乗効果で一つの作品が成立しています。



- 1: 「タイトル」
このシリーズの命。いわゆるネタ。文字は全て切り文字で制作。それらしく見せるため英語訳もつけている。(誤訳あり)
- 2: 「絵」
タイトル内容をそのまま切ったものからのあらすじにのっとったものまで、ネタとコンセプトを考えた後黒い紙を前に即興に近い形で制作。
- 3: 「帯キャッチコピー」
別名ツッコミ。帯に見せかけた別色印刷の部分に載せるキャッチコピー。だいたいネタが浮かんだ直後に出てくることが多い。
- 4: 「裏表紙カット」
本の内容を象徴するアイテムを表すアイコン的なきりえ。
- 5: 「解説」(あらすじ)
その本の内容、社会的評価などをもっともらしく綴った嘘の解説。元本の内容を踏まえて書いたもの、元本を無視したオリジナルの内容、元本と一切関係ない別の映画や物語のパロディなど比較的自由に書かれている。
- 5: 「初版特典読者プレゼント」
架空の読者プレゼント企画。詳細が書いてある巻末ページが存在しないので誰も応募できない。商品はだいたい本の内容にちなんだものだが、もらっても困るような物が多い。

新世界文学名作選①「罪と罰」



原作解説：『罪と罰』ドストエフスキー

1866年発表された長編小説。世界文学の最高傑作の1つ。貧乏学生ラスコーリニコフは、選ばれた強者は道德律を踏み越える権利をもつという結論に達し、金貸しの老婆を殺す。だが、罪の意識におびえ苦しむ。耐えきれなくなった彼は、自己犠牲に生きる娼婦ソーニヤのすすめで自首を決意。人間回復への願望を訴える作品。
(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選②「老人と久美」



原作解説：『老人と海』アーネスト・ヘミングウェイ

1952年刊。老漁夫と巨大なマカジキの闘いを描いた。知識と体力を尽くして闘ううちに、老人は魚に敬意と友愛を抱くようになる。二昼夜に及ぶ苦闘の末に銚を打ち込むが、それは大海流の自然の力と美の化身たる大魚と孤独な苦闘者との激しい合体の瞬間だった。ヘミングウェイの才能枯渇の評判を一挙に覆した名編である。(参考：世界文学大辞典)

新世界文学名作選④「長靴をかいた猫」



原作解説：『長靴をはいた猫』シャルル・ペロー

フランスの詩人であり作家のシャルル・ペローの童話集の一編。親の遺産として小猫一匹しかもらえなかった粉ひきの三男坊が、賢い小猫の活躍によって王女の婿となるお話。民間伝承の昔話をペローが創作童話化。児童文学としてだけでなく、フォークロア、幻想文学の源泉として高く評価されている。
(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑤「ヒルマの賭事」



原作解説：『ビルマの豎琴』竹山道雄

太平洋戦争末期のビルマ(現ミャンマー)の戦場を舞台に、音楽好きな水島上等兵が奏でる豎琴で敵も味方も合唱するという感動の物語。しかし、戦争が終わっても水島上等兵は帰国せず、僧となり同胞の霊を弔うため戦友たちの前から姿を消していく。児童文学作品にとどまらず戦争文学の名作として幅広い読者をもつ。(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑦「ファースト」



原作解説：『ファウスト』ゲーテ

2部から成るゲーテの代表的な戯曲。第1部は1808年刊、第2部は1832年刊。ファウスト伝説に取材。究理に絶望した学者ファウストが悪魔メフィストフェレスと賭けをし、欲望と快楽を知り、やがて罪におちるが、少女グレートヘンへの天上の愛によって救われるまでを描く。ドイツ近代文学最大の作品とされる。
(参考:日本国語大辞典)

新世界文学名作選⑧「リチャードさんせい」



原作解説：『リチャード三世』ウィリアム・シェイクスピア

15世紀薔薇戦争末期、英国王を兄に持つ百戦錬磨の武人グロスター公リチャードは、世が平穏に差し掛かって活躍の場を失い、醜悪な容姿ゆえ人々の嘲笑を受けていた。これを見返し王位に付こうと卑劣の限りを尽くす極悪人ぶりを描き、歴史劇の枠を逸脱する傑作とされている。
(参考:新訳リチャード三世/河合祥一郎訳訳者あとがき)

新世界文学名作選⑩「からしがおおか」



原作解説：『嵐が丘』エミリー・ブロンテ

1847年刊、イギリスの女流作家エミリー・ブロンテの長編小説。嵐が丘という屋敷で養育された捨て子のヒースクリフを主人公とする物語。ヒースクリフとキャサリンは、愛し合いながらもこの世で愛を成就させることができず、隣り合った墓で長い眠りにつく。悪魔的なまでに激しい人間の情熱を力強い筆致で描いた作品。
(参考:日本大百科全書)

新世界文学名作選⑪「赤い盗賊と人魚」



原作解説：『赤い蠟燭と人魚』小川未明

短編童話。1921年発表。ある人魚が、自分の子供は人間の世界で幸福に暮らさせたいと、娘を海辺の神社に産む。近くの蠟燭屋の老夫婦が拾って育てるが、金に目がくらんで見せ物師に売り渡すと、嵐がおこって娘を運ぶ船は沈み、蠟燭屋夫婦のいた町も滅びてしまう。正義感が暗いロマンチズムと溶け合って、印象的な作品。
(参考:日本大百科全書)

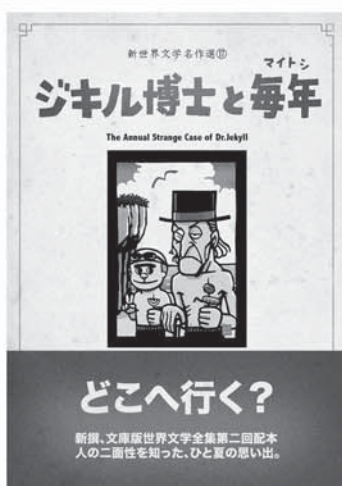
新世界文学名作選⑫「蟹光線」



原作解説：『蟹工船』小林多喜二

1929年『戦旗』発表。北洋の蟹工船漁業で起きた事件をもとに「植民地における資本主義侵入史」をえぐるうとした。季節労働者として雇われ、国威発揚の美名のもとに搾取された未組織労働者が、自然発生的な闘いに立ち上がり階級意識に目覚める姿を描く。プロレタリア文学の理論的、実作的水準を一挙に高めた画期的作品である。(日本大百科全書)

新世界文学名作選⑬「ジキル博士と毎年」



原作解説：『ジキル博士とハイド氏』ステイーブンソン

高名なジキル博士は、飲むと一片の道德心も持たぬ凶悪な人間(ハイド氏)に変身する薬を発明する。しかし、薬の副作用によりハイド氏の姿を常とするようになり、悲惨な最期を遂げる。当時の社会に衝撃を与え、あらゆる階層から糾弾を浴びたが、人間の二重性の問題をついた点で、きわめてユニークな作品といえる。(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑭「アーム状」



原作解説：『レ・ミゼラブル』ビクトル・ユゴー

長編小説。1862年刊行。一切れのパンを盗んで逮捕されたジャン・バルジャンの数奇に富んだ生涯を描く作品。社会の悲惨な犠牲者たちを主人公とし、大革命から王政復古へと激動のフランス社会を描き、壮大な叙事詩的小説世界を構築している。各国語に翻訳されて愛読され、ユゴーの名を世界的に著名にした。(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑮「失われた土器を求めて」



原作解説：『失われた時を求めて』マルセル・プルースト

フランスの作家マルセル・プルーストの長編小説。1913年から1927年までかけて刊行された大作。小説は語り手の「私」がマドレーヌの味をきっかけに蘇った無意識的記憶、少年時代を語り始めるところから展開される。時間と記憶、芸術、社交界、同性愛、ユダヤ人の主題が緻密かつ雄大に描かれる、20世紀を代表する小説。(参考：世界文学大事典)

新世界文学名作選③〇「王子と叔父貴」



原作解説：『王子と乞食』マーク・トウェイン

16世紀のロンドン。本物の王子を見たいと夢想する貧しい少年トムは、ふとしたことから皇太子エドワードにより城内に招じ入れられる。瓜ふたつのふたりが戯れにお互いの衣服を交換したことから、それぞれが正反対の境遇に投げ入れられる様子を描く。児童や青少年を主たる読者とした歴史ロマンス。(参考:マーク・トウェイン文学/文化事典)

新世界文学名作選③①「やもめのジョナさん」



原作解説：『かもめのジョナサン』リチャード・バック

米国の作家リチャード・バックの寓話小説で、生きること(食べること)にあくせくする群れから離れ、いかに速く飛ぶかを追求するジョナサンの姿を描く。1羽だけで生きるカモメの姿から、絶対的自由と愛の意義までうたいあげる作品で、出版当時(1970年)若者たちのあいだに口コミで広まり、超ベストセラーとなった。(参考:訳者五木寛之あとがき)

新世界文学名作選③②「そして誰もいなくなかった」



原作解説：『そして誰もいなくなかった』アガサ・クリスティ

イギリスのミステリー作家アガサ・クリスティの代表作。謎の人物からの招待状で孤島に招かれた10人が民謡の歌詞通りに次々と殺されていく。「孤島もの」、「見立て殺人」両方の特徴を併せ持つ最高傑作。全世界で1億部以上を売り上げ、何度も映画や舞台、テレビドラマとして上演されている。(参考:デジタル大辞泉プラス)

新世界文学名作選③③「ジョニーは銭湯へ行った」



原作解説：『ジョニーは戦場へ行った』ドルトン・サランボ

第二次世界大戦勃発の1939年に発表された反戦小説。第一次世界大戦で負傷した兵士ジョニーの語りのみで記述されるその内容は非常に強力な反戦メッセージを持つ。そのため政府の圧力で、戦争のたびに絶版となりその後復刊を繰り返す。ベトナム戦争の1971年には著者自らの監督脚本により映画化されている。(参考:デジタル大辞泉プラス)

新世界文学名作選④「よたかの星」



原作解説：『よだかの星』宮澤賢治

よだかは、美しいはちすずめやかかわせみの兄でありながら、容姿が醜く不格好なゆえに仲間から嫌われ、故郷を捨てる。自分が生きるためにたくさんの虫の命を奪っていることに嫌悪して、彼はついに生きることに絶望した。居場所を失い、夜空を飛び続けたよだかは、いつしか青白く燃え上がる「よだかの星」となり、今でも夜空で燃える存在となる。

新世界文学名作選⑧「人間ひっかく」



原作解説：『人間失格』太宰治

1948年6月から8月まで『展望』に連載。純粹であるがゆえに社会に調和して生きて行けない大庭葉蔵の姿を借りて、作者の内面的真実を吐露した作品。作者自身の体験を大胆にデフォルメして使いながら世俗への反感を表出し、大人の世界の入口でためらう年齢の若者を魅了した。作者は、作品完成後、連載中に心中した。(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑫「ツアラトウストラは頭がたった」



原作解説：『ツアラトウストラはこう語った』フリードリヒ・ニーチェ

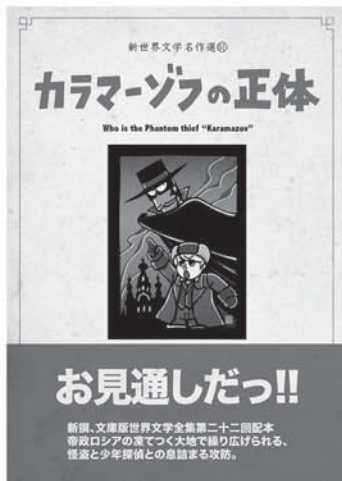
詩人哲学者ニーチェの晩年の主著で、全4部から構成される。自分の理想的分身ツアラトウストラ(ゾロアスター)に「超人」や「永劫回帰」などに関する教説を語らせた説教集の観を呈する。経験的事実の背後に開示される根源の生の愉悦に捧げられた賛歌である点では、処女作『悲劇の誕生』の延長線上にある。(参考：日本大百科全書)

新世界文学名作選⑭「ばしれメロス」



原作解説：『走れメロス』太宰治

小説。太宰治の中期の代表作。昭和15(1940)年初出。妹の結婚の宴の買い物に来たメロスは、暴君の評判を聞き、短剣を懐中に城に入って捕えられる。友人を身代わりに処刑を三日間猶予されたメロスは、さまざまな困難を乗り越えて帰って来る。王は「真実とは決して空虚な妄想ではなかった。」とメロスを讃えた。(参考：日本現代文学大事典)



新世界文学名作選⑥「カラマゾフの正体」

原作解説：『カラマゾフの兄弟』フョードル・M・ドストエフスキー

ロシアの作家ドストエフスキーの最後の長編小説。物欲の権化のような父の血を、それぞれ相異なりながらも色濃く引いた三人の兄弟。父親の殺害をめぐる心理的葛藤を軸に、推理小説を思わせる緊密な構成で展開される。生涯を通じて作者を悩ませた思想的、宗教的問題、人間の本質についての思索を集大成した世界的傑作。(参考：日本大百科全書)



新世界文学名作選⑦「若きテルテルの悩み」

原作解説：『若きウエルテルの悩み』ゲーテ

1774年刊行。純粋な青年ウエルテルは、少女ロッテを知り激しい恋に陥る。許婚者がいるロッテへの許されぬ恋をあきらめきれない彼はピストルで自殺する。そこには、貴族社会が市民に抱く理由のない蔑視に対する憤激も語られている。1770年頃におこったシュトゥルム・ウント・ドラング(疾風怒濤)の文学運動の代表的な作品。(参考：日本大百科全書)



新世界文学名作選⑧「おじいさんのランプ」

原作解説：『おじいさんのランプ』新美南吉

おじいさんは、小さい頃初めてランプを見て、その明るさに惹かれ、ランプを商うようになる。やがて、村にも電気が引かれる時代となった。「…それでも世の中が進歩して自分の商売が役に立たなくなったらすっぱりそいつを捨てて、昔にすがりついたり時代を恨んだりしてはいけないんだ。」と孫に語るおじいさん。商売のエッセンスが書かれた童話。



新世界文学名作選⑨「ゴヤいじり」

原作解説：『高野聖』泉鏡花

1900年発表、泉鏡花の代表作。飛騨の山中を舞台に旅僧と魔性の美女との出会いを幻想的にロマンに満ちた独自の世界観で描く。鏡花の生まれた金沢には多くの伝説が語り伝えられており、この高野聖も山姫伝説を基盤に、絶妙な語りの形式をみせる。これまでに本作を原作とした映画、舞台が数多く制作されている。(参考：日本大百科全書)



新世界文学名作選 74 「だいだ赤おに」

原作解説：『泣いた赤鬼』浜田廣介

赤鬼は、人間たちの仲間になって仲良く暮らしたいと思い、家の戸口の前に、木の立札を立て、人間が遊びに来てくれるように誘いました。しかし、人間は警戒して、誰も遊びに来てくれません。それを聞いた青鬼は、自分が悪者になる事で、赤鬼を人間に信用させようとします。友達のために、自分が犠牲になってまで尽くす、切ない友情の物語。



新世界文学名作選 75 「父、かえる」

原作解説：『父帰る』菊池寛

明治末期、4人暮らしの平和な中流家庭に、20年前情婦と出奔した父親が落ちぶれて帰ってくる。母と次男は年老いた父を迎え入れようとするが、父親代わりに苦勞してきた長男は激怒する。父は家を出ていくが、母と妹の哀願から長男は父を呼び戻す。肉親間の愛憎をテーマに、簡潔な構成と巧みな反転により描いた作品。(参考：日本大百科全書)



新世界文学名作選 76 「こ、コロ…」

原作解説：『こころ』夏目漱石

長編小説。1914(大正3)年。大学生の〈私〉は鎌倉で会った〈先生〉に傾倒。しかし、先生は容易に心を開かない。その謎が、自殺した先生の遺書により解明。恋のために友人を裏切り、自殺させた過去をもつ先生は、乃木の殉死を聞いて自殺。愛とエゴイズムの問題が、自己否定に到達した知識人の苦悩を通じて描かれる。(参考：日本大百科全書)



新世界文学名作選 80 「ライ麦畑でつかまえて」

原作解説：『ライ麦畑でつかまえて』J.D. サリンジャー

長編小説。1951年発表。高校を退学になった16歳の少年ホールデンの目を通して大人の世界の「いんちき」を告発し、若者たちの強い共感を得た。当時のハイティーンの活きのいい話し言葉の文体も魅力で、米国内だけでなく全世界で読まれ続け、1000万部を越す空前のロングセラーとなり、10数カ国語に翻訳されている。(参考：集英社世界文学大事典)



新世界文学名作選拾遺篇①「坂の上の相撲」

原作解説：『坂の上の雲』司馬遼太郎

日本騎兵を育成し、ロシアのコサック騎兵と戦った秋山好古。東郷平八郎の参謀として作戦を立案し、日本海海戦でバルチック艦隊を破った秋山真之。病床にありながらも、近代俳諧の基礎を築いた正岡子規。この三人を中心に、維新を経て近代国家の仲間入りをしたばかりの「明治日本」と、明治という時代を生きた人々の生涯を描いた司馬遼太郎の歴史小説。



新世界文学名作選拾遺篇⑩「羊をめぐる暴言」

原作解説：『羊をめぐる冒険』村上春樹

1982年発表。他者の心に達することの不可能から、他者との断絶の中で生きていた<僕>が、<羊>をめぐる冒険に駆り出される。「自分自身の半分でしか生きてない」と不思議な力のある女友達に言われ、「僕の残り半分」を見出す行動に出る。そこには向こう側の世界が待ち受けていた。(萩原桂子, "村上春樹『羊をめぐる冒険』論: <残余の自己>との出会い")



新世界文学名作選拾遺篇⑪「アンナ、カレーにな…」

原作解説：『アンナ・カレーニナ』レフ・トルストイ

高級官僚カレーニンに嫁いで、平和な生活を送ってきた美しいアンナは、舞踏会で若い将校ヴロンスキー伯爵と出会い、夫も子供も捨てて彼のもとに走る。しかし幸福の絶頂期は瞬く間に過ぎ去り、アンナは良心の呵責に悩まされ、鉄道に身を投じ、悲劇的な死を遂げる。トルストイの作品中、芸術的完成度の最も高い小説。(参考:世界文学大事典)

〈登場人物(2作品以上に現れるキャラクター)紹介〉



獾

罪を犯した。何をしたかは
わからずじまい。

- 01. 「罪と獾」
- 80. 「ライ麦畑でつかまえて」



黒猫

色々ちょっかい出したり、爪を立てたり。

- 04. 「長靴をかいた猫」
- 48. 「人間ひっかく」



悪魔

いるんなところに顔を出し、ヒトの
人生を狂わせる。

- 07. 「ファースト」
- 23. 「ネクタイの悪魔」
- 46. 「魔の海女」



リチャード/貫一・ルグラン

リチャードは将来王となる宿命を負った
悩み深き小学生。貫一・ルグランは失恋
をきっかけに金色打者に変化する大リー
ガー。そっくりなので多分子孫。

- 08. 「リチャード三世」
- 拾遺篇06. 「金色打者」



ホドリゴ

300戦無敗の総合格闘技王者。
おそらくブラジル人。

- 09. 「伊豆のホドリゴ」
- 41. 「ゼンダ上のホドリゴ」



駄犬

何も考えてない。コロと呼ばれること
もある。

- 43. 「銭湯の犬たち」
- 70. 「はしたない物語」
- 76. 「こ、コロ…」



おじさん

元王族。本名はジョナ。星姓だっ
たこともある。お人好しでうさぎ
好き。全30作あるという長編シリ
ーズ「ぼくのおじさん」の主人公。

- 30. 「王子と叔父貴」
- 33. 「やもめのジョナさん」
- 49. 「星の叔父さま」
- 50. 「夜間尾行」
- 79. 「幸福の大叔父」



タイ人

パリオペラ座で開かれた総合格闘技
大会で華々しいデビューを飾った
ムエタイ戦士。本名はボンチャック。
親友はゾウのトンダ。

- 59. 「オペラ座のタイ人」
- 60. 「タイ人20連勝」



少年探偵

やたらいい服を着た小生意気な
子供。あるときはイワヌシユカ、
またあるときはダンと名乗り。頭
はいいが大人げのない仮面の怪盗と
頭脳戦を繰り広げる。

- 61. 「カラマーゾフの正体」
- 拾遺篇12. 「少年探偵ダン」



忍者

どこの国にもいる(?)非情の世界に生
きる者。

- 38. 「恐るべきみどもたち」
- 71. 「ベニスの上忍」



うさぎ

とにかくかわいい。

- 45. 「草食五人女」
- 拾遺篇20. 「二兎物語」

<p>新世界文学名作選①</p> <h2>罪と獲</h2> <p>Crime and a Tapir</p>  <p>何をした!?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第一回記本 各所で物議を醸した衝撃の同題作。</p>	<p>新世界文学名作選②</p> <h2>老人と久美</h2> <p>The Old Man and Kumi</p>  <p>だれだおまえら</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第一回記本 海辺の街で遭遇する不条理な一日。</p>	<p>新世界文学名作選③</p> <h2>美女と柳生</h2> <p>Beauty and the Sword</p>  <p>参りました!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第一回記本 求道小説のニュースタンダード。</p>	<p>新世界文学名作選④</p> <h2>長靴をかいだ猫</h2> <p>Puss smelling the Boot</p>  <p>嗅ぐんじゃない!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第一回記本 文字から立ち上る、芳醇すぎる匂いの世界。</p>	<p>新世界文学名作選⑤</p> <h2>ヒルマの賭事</h2> <p>The Gamble in the Daytime</p>  <p>いいから帰ってこい!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第五回記本 用め手から語る、戦争と平和。</p>
<p>新世界文学名作選⑥</p> <h2>エデンの干菓子</h2> <p>Drycakes of Eden</p>  <p>「おれの分は!？」</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第六回記本 各国で次々と発展区分になった同題作。</p>	<p>新世界文学名作選⑦</p> <h2>ファースト</h2> <p>First</p>  <p>悪魔めっ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第八回記本 誘惑と裏切りのタブーストーリー。</p>	<p>新世界文学名作選⑧</p> <h2>リチャードさんせい</h2> <p>The Tragedy caused by King Richard's agreement</p>  <p>イエス。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第八回記本 たった一度の握手が巻き起こす悲劇。</p>	<p>新世界文学名作選⑨</p> <h2>伊豆のホドリゴ</h2> <p>Rodrigo in Izu</p>  <p>これは汗ではない!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第八回記本 世界が覆目した異色格闘文学。</p>	<p>新世界文学名作選⑩</p> <h2>からしがおおか</h2> <p>Too Much Mustard</p>  <p>キャシーさあ帰ってきたこたる</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二回記本 陰鬱の荒野に吹き覚える一大叙事詩。</p>
<p>新世界文学名作選⑪</p> <h2>赤盗賊人魚</h2> <p>Red thief and mermaid</p>  <p>赤いにもほどがある!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第六回記本 冒険小説の金字塔、待望の傑作。</p>	<p>新世界文学名作選⑫</p> <h2>蟹光線</h2> <p>The Crab Beam</p>  <p>団結せよ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第六回記本 生存をかけた戦いを描く海洋プロレタリア文学。</p>	<p>新世界文学名作選⑬</p> <h2>垢と風呂</h2> <p>Dirt and bath</p>  <p>さっぱり。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二回記本 湯の快楽に浸される野心。</p>	<p>新世界文学名作選⑭</p> <h2>二十日鼠と信玄</h2> <p>Of a Mouse and Shingen</p>  <p>疾きこと鼠のごとし</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第六回記本 種を超えた友情、熱き血たぎる戦国絵巻。</p>	<p>新世界文学名作選⑮</p> <h2>首輪物語</h2> <p>The Lord of the Collar</p>  <p>世界は一匹の駄犬と共に</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第五回記本 今なお輝かせるものに影響を与え続ける、ファンタジーの中のファンタジー。</p>
<p>新世界文学名作選⑯</p> <h2>ぼっちゃん</h2> <p>Pocchan</p>  <p>どんぶりこ。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第五回記本 今なお魅せることのない青春小説。</p>	<p>新世界文学名作選⑰</p> <h2>ジキル博士と毎年</h2> <p>The Annual Strange Case of Dr.Jekyll</p>  <p>どこへ行く?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二回記本 人の二面性を知った、ひと夏の思い出。</p>	<p>新世界文学名作選⑱</p> <h2>怒りの武道</h2> <p>The Martial Arts of Wrath</p>  <p>チェストー!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第六回記本 破顔の連環を断ち切る斬刀。</p>	<p>新世界文学名作選⑲</p> <h2>アーム状</h2> <p>Something like An Arm</p>  <p>ただ1本のパンのために</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三回記本 フランス中が爆笑、魂を描きふる大河ミステリー。</p>	<p>新世界文学名作選⑳</p> <h2>仁侠の家</h2> <p>A Takaza's House</p>  <p>はいります。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三回記本 忘れゆく義理人情へのレクイエム。</p>
<p>新世界文学名作選㉑</p> <h2>カールマン</h2> <p>Carl Men</p>  <p>巻きすぎだ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第四回記本 胸をすく悪漢小説。</p>	<p>新世界文学名作選㉒</p> <h2>失われた土器を求めて</h2> <p>Remembrance of Earthen Vessel</p>  <p>あれは…いいものだ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第八回記本 さまよふ土器に重なる魂の歴史。</p>	<p>新世界文学名作選㉓</p> <h2>ネクタイの悪魔</h2> <p>The Devil wearing a Necktie</p>  <p>似合わねえ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第九回記本 ネクタイに纏り回される社用服の悪戯。</p>	<p>新世界文学名作選㉔</p> <h2>羊たちの親睦</h2> <p>The Friendship of the Lambs</p>  <p>無礼講。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第五回記本 集団心理から読み出される悪人の欲望。</p>	<p>新世界文学名作選㉕</p> <h2>トム・ソーヤの猛犬</h2> <p>The Ferocious Dog of Tom Sawyer</p>  <p>来い! インジャンジョー</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第一二回記本 少年が抱く巨大な力への憧れと憧れ。</p>

<p>新読世界文学名作選 ①</p> <p>ハックルベリー・フィンの剛剣</p> <p>The Steady Seed of Huckleberry Finn</p> 	<p>新読世界文学名作選 ②</p> <p>モヒカン族の迷子</p> <p>The Stray Child of the Mohicans</p> 	<p>新読世界文学名作選 ③</p> <p>迷子の一葉</p> <p>Ichijo the Stray</p> 	<p>新読世界文学名作選 ④</p> <p>全ての美しい熊</p> <p>All the Beautiful Bear</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑤</p> <p>王子と叔父貴</p> <p>The Prince and the Uncle</p> 
<p>強えぞ。妻わら</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第12回記本 神話横き面が自ら生み出した英雄譚。</p>	<p>むかえにきて。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第7回記本 フロンティアスピリットの教科書。</p>	<p>大人なのに。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第7回記本 情緒漂う幻想譚。</p>	<p>サーモンは最高の美容食</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第12回記本 美しさを追い求める人間に於てた英雄譚。</p>	<p>悪いことは大抵叔父から</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第10回記本 「ぼくのおじさん」シリーズ第1作。</p>
<p>新読世界文学名作選 ⑥</p> <p>誰がために羽根は鳴る</p> <p>For whom the wings toll</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑦</p> <p>郵便配達員が非常なまかせ</p> <p>The Postman Always Rings the Alarm</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑧</p> <p>やもめのジョナさん</p> <p>Melona, cheerful widower</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑨</p> <p>そして誰もいなくなかった</p> <p>And Then There Were No Hairs</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑩</p> <p>オリバーツイスト</p> <p>Oliver Twist</p> 
<p>たぶんメス。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第9回記本 内訳の嵐中燃え上がる許されざる恋。</p>	<p>ひとさわがせな。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第11回記本 人間心理に深く切り込む、出来心の考察。</p>	<p>ハンリョ募集中</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第11回記本 「ぼくのおじさん」シリーズ異色作。</p>	<p>何があった？</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第11回記本 孤島の牧場で起きた異変。</p>	<p>ギブ？</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第13回記本 逆境に必死法で立ち向かう孤児の話。</p>
<p>新読世界文学名作選 ⑪</p> <p>長距離走者の小六</p> <p>The Long-Distance Runner, Kousaku</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑫</p> <p>十五少年放流記</p> <p>Two Years Holiday for Released Fish</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑬</p> <p>恐るべきみどもたち</p> <p>The Horrible Us</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑭</p> <p>アंकルトムスのホヤ</p> <p>Uncle Tom's Aspidochelone</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑮</p> <p>ブリキの舞子</p> <p>The Tin Maiden</p> 
<p>誰よ？</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第15回記本 人は何のために走るのか。</p>	<p>帰ってこいよ！</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第11回記本 少年達が遭遇する、最も過酷なサバイバル。</p>	<p>自画自賛。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第15回記本 忍びの者特有の自慢、無邪気、残酷さ。</p>	<p>食ってみろ！</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第14回記本 食への偏見、差別へ放たれた一本の矢。</p>	<p>やわらかく、なりたい</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第16回記本 京都百年の大変史を見つめ続けた異形の親子。</p>
<p>新読世界文学名作選 ⑯</p> <p>ゼンダ城のホドリゴ</p> <p>Roderigo of Zenda</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑰</p> <p>ジョニーは銭湯へ行った</p> <p>Johnny Went to a Public Bath</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑱</p> <p>銭湯の犬たち</p> <p>The Dogs in Public Bath</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑲</p> <p>シャリの下</p> <p>Beneath Sushi Rice</p> 	<p>新読世界文学名作選 ⑳</p> <p>草食五人女</p> <p>Herbivorous Five Women</p> 
<p>私は誰の挑戦も受ける。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第19回記本 幾多の敵を倒し貫くは、父の影のつぎ星の城へ。</p>	<p>きれい好き。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第16回記本 反乱騒動文学の代表、待望の復刊。</p>	<p>少しづつでもらえます？</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第13回記本 素直と相対しぬい争いに真を現る野村たち。</p>	<p>なんだ!? この食感は!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第11回記本 食道をつらなるる教養小説。</p>	<p>もぐもぐぼろぼろ</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第16回記本 傑作浮世草子、草食女にゃかなひない。</p>
<p>新読世界文学名作選 ㉑</p> <p>魔の海女</p> <p>The Woman Diver of Magic</p> 	<p>新読世界文学名作選 ㉒</p> <p>よたかの星</p> <p>The Star of Streetwalkers</p> 	<p>新読世界文学名作選 ㉓</p> <p>人間ひっかく</p> <p>A Scratch on a Man</p> 	<p>新読世界文学名作選 ㉔</p> <p>星の叔父さま</p> <p>My uncle called himself Mr. Hoshi</p> 	<p>新読世界文学名作選 ㉕</p> <p>夜間尾行</p> <p>Night Follow</p> 
<p>気をつけろっ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第14回記本 長編小説。その社説を口にしてはならない。</p>	<p>星になるのだっ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第16回記本 大ブームを巻き起こした熱血大河時代小説。</p>	<p>いてえ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第10回記本 都市化した人間に向けられた野生からの一撃。</p>	<p>本名判明?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第20回記本 「ぼくのおじさん」シリーズ。真人間に変わったおじさん</p>	<p>ねむいけど。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第21回記本 「ぼくのおじさん」シリーズ。おじさん雇われる。</p>

<p>新世界文学作選◎</p> <p>裸のパンチ</p> <p>Naked Punch</p>  <p>うけてみる!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第十九回配本 読者で盛り上げられるおもしろい男の闘い</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ツァラトゥストラは頭がたった</p> <p>Prof.Zarathustra grew older</p>  <p>君に言われたくはない</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十四回配本 老い、そして神についての哲学的対話</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>つかる</p> <p>Stepping into a Bath</p>  <p>ああ、帰ってきた。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十三回配本 無頼漢作家、帰郷する。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ぱしれメロス</p> <p>Go shopping Melos!</p>  <p>がってんだっ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十回配本 今なお読者に愛と希望をもたらしている、 「はじめてのおつかい」の物語。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>非はまたのぼる</p> <p>Moreover, Bekuro has the source of a problem.</p>  <p>またおまえかっ</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十四回配本 ロストジェネレーションのやりきれない日常</p>
<p>新世界文学作選◎</p> <p>白いシバ</p> <p>The White Shiba Dog</p>  <p>お手っ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十四回配本 野性味を残した一匹の犬が活躍する奇跡な運命</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ハワードズエンド</p> <p>Howard's End</p>  <p>怒りの電流がほとぼしる</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 「完全な紳士」に惹かれた人達人間の運命の運命</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ジャングルヘック</p> <p>Jungle Heck</p>  <p>決まった!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十九回配本 夢で未来を切り開く野生モーター。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>オペラ座のタイ人</p> <p>Thai of the Opera</p>  <p>観客総立ち。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十二回配本 金にムエタイブームを巻き起こした傑作</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>タイ人20連勝</p> <p>20 straight victories of Thai</p>  <p>強すぎるっ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十九回配本 「オペラ座のタイ人」続編。絶体絶命の危機を打ち砕く。</p>
<p>新世界文学作選◎</p> <p>カラマゾフの正体</p> <p>Who is the Phantom Thief "Karamazov"</p>  <p>お見通しだっ!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十二回配本 帝政ロシアの凄まじく大地で繰り返される、 盗賊と少年探偵との息詰まる攻防。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>シャーロックホームズの動転</p> <p>Upset of Sherlock Holmes</p>  <p>何ですと!!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十九回配本 冒険・冷静な顔に何か?</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>若きテルテルの悩み</p> <p>The Scream of Young TeruTeru</p>  <p>あした晴れるかな</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十六回配本 誰もが思い当たる青春期の悶々を吐き出せる切実な 話し手と読者を惹きつけた狂言喜劇。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>犬を連れだボクサー</p> <p>The boxer who was with a dog</p>  <p>メロメロ。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十八回配本 保護地で進歩を謳むる小野犬と私。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>おじいさんのランプ</p> <p>Intense Dance of the Old Man</p>  <p>ドントストップザミュージック!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十一回配本 老人と若者、語りを通じた運命の再生。</p>
<p>新世界文学作選◎</p> <p>おおかみと七びきのおやじ</p> <p>Wolf and Seven Robbers</p>  <p>あけておくれ。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十七回配本 伝説の交差点と立てつくり大蛇で繰り返される、 第一編のサスペンス。今秋読者決定。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>高慢と弁慶</p> <p>Pride and Benkei</p>  <p>それがどうした!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三十回配本 長刀と共に斬られる勇つぱ。 己が力の使い道を知らぬ男が真の主に出会うまで。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ももかろう</p> <p>Mo.Peach, the Chief Retainer</p>  <p>禄は団子とな!?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 日本一の落も目録した落者かたごる中興管理職の愚言。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>きんかろう</p> <p>Mo.Gold, the Chief Retainer</p>  <p>ばっさり。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 幕末、維新寸前の藩財政にまさかりを入れ、 不審の決意で藩政改革を断行した一人の家老の物語。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>はしたない物語</p> <p>The Besser refining story</p>  <p>いやですこと</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十六回配本 フィクションの存在意義を問う新時代のファンタジー文学。</p>
<p>新世界文学作選◎</p> <p>ベニスの上忍</p> <p>The Ninja of Venice</p>  <p>成敗!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十九回配本 水の都で繰り返される、非情なるスパイアクション。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>ゴヤいじり</p> <p>Playing with a Bitter Guard</p>  <p>趣味さあ</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十三回配本 なににも思わされずまっすぐ物語を愛で続ける男。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>我が輩はペコである</p> <p>I am a Cow</p>  <p>名前は?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十四回配本 日本の近代化を平準から革をみつつ見ていた牛。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>だいだ赤おに</p> <p>The Pinch Hitter Red Onge</p>  <p>たのむぞ!</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十八回配本 児童文学の古典。ともたちがほしいお鬼の大活躍。</p>	<p>新世界文学作選◎</p> <p>父、かえる</p> <p>Flag, My Father</p>  <p>自分の足で、歩きたい</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 生まれた地に帰ってきた旗。その翼を見つめる五つ子。</p>

<p>新世界文学名作選①</p> <p>こ、コロ…</p> <p>Oh, Caro</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 新時代に浮かれる普通のはだに目を向けさせるマーキング</p>	<p>新世界文学名作選②</p> <p>3びきのこぶら</p> <p>The Three Cobras</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第三十四配本 子供から大人までを魅了する、謎多き教科書。</p>	<p>新世界文学名作選③</p> <p>大きなこぶ</p> <p>a Big Lump</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第二十七回配本 力みなぎる大地の民謡集。</p>	<p>新世界文学名作選④</p> <p>幸福の大叔父</p> <p>The Happy Great-uncle</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第三十回配本 「ぼくのあじさん」シリーズ、感動の大団円。</p>	<p>新世界文学名作選⑤</p> <p>ライ麦畑でつかまえて</p> <p>Captured in the Rye</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第三十回配本 永遠の青春小説。名作「野火」に輝けられた前日譚。</p>
<p>なんてことを…</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十五回配本 新時代に浮かれる普通のはだに目を向けさせるマーキング</p>	<p>レッドスネークカモン</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三十四配本 子供から大人までを魅了する、謎多き教科書。</p>	<p>うんとこどっこいしょ</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第二十七回配本 力みなぎる大地の民謡集。</p>	<p>おめでたいひと。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三十回配本 「ぼくのあじさん」シリーズ、感動の大団円。</p>	<p>だから何をしたんだ!?</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第三十回配本 永遠の青春小説。名作「野火」に輝けられた前日譚。</p>
<p>新世界文学名作選協賛①</p> <p>坂の上の相撲</p> <p>Same on a hill</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 大人から若者まで幅広い世代に相撲の雄姿を伝えた 秋山寛一郎の物語。</p>	<p>新世界文学名作選協賛②</p> <p>おーい成井さん</p> <p>Hey! Mr. Natori</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 運命の国字を持って生まれた童話がたどる数奇な人生。</p>	<p>新世界文学名作選協賛③</p> <p>ぼくの細道</p> <p>My narrow lane</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 江戸中世の遊歩アームに巻き込んだ、先祖マニア サブカル本。</p>	<p>新世界文学名作選協賛④</p> <p>赤影のアン</p> <p>Red Shadow, Anne</p>  <p>新編、世界文学全集第51回配本 赤毛の乙女が影を討つ、戦う少女達の永遠の バイブル。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑤</p> <p>母をたずねて三千人</p> <p>3000 Sons in search of Mom</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集51回配本 クローン選は旅立つ、また見始めを求めて――。</p>
<p>危ないっす。</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 大人から若者まで幅広い世代に相撲の雄姿を伝えた 秋山寛一郎の物語。</p>	<p>はいい。</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 運命の国字を持って生まれた童話がたどる数奇な人生。</p>	<p>細道が好きっ!</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集50回配本 江戸中世の遊歩アームに巻き込んだ、先祖マニア サブカル本。</p>	<p>言っちゃったよ…正体。</p> <p>新編、世界文学全集第51回配本 赤毛の乙女が影を討つ、戦う少女達の永遠の バイブル。</p>	<p>殺到!!</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集51回配本 クローン選は旅立つ、また見始めを求めて――。</p>
<p>新世界文学名作選協賛⑥</p> <p>美金球</p> <p>The Golden Ball</p>  <p>新編、世界文学全集第51回配本 消えた半端とどくる撲球の縁との関係とは…?</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑦</p> <p>金色打者</p> <p>The Golden Batter</p>  <p>「美金球」編編。お宝への想いを断ち切るべく、 貫一は金色打者に変化する…</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑧</p> <p>イワンのほか</p> <p>Ivan the Grave</p>  <p>新編、文庫版世界文学全集第52回配本 墓石が転落する、青年イワンの数奇な運命。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑨</p> <p>ロビンソン恐竜記</p> <p>Adventures of Robinson in the Lost World</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集52回配本 絶境サバイバル小説の古典。ロストワールドへ 漂着した船乗り達の運命は…?</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑩</p> <p>羊をめぐる暴言</p> <p>abusive words to sheep</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集53回配本 ノーベル文学賞作家の原点。心ない一言が僕 を道なる世界へと誘い込む。</p>
<p>魔球か!?</p> <p>新編、世界文学全集第51回配本 消えた半端とどくる撲球の縁との関係とは…?</p>	<p>ストライクゾーンが見えない!</p> <p>「美金球」編編。お宝への想いを断ち切るべく、 貫一は金色打者に変化する…</p>	<p>わたし墓よね。</p> <p>新編、文庫版世界文学全集第52回配本 墓石が転落する、青年イワンの数奇な運命。</p>	<p>生き延びてやる!</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集52回配本 絶境サバイバル小説の古典。ロストワールドへ 漂着した船乗り達の運命は…?</p>	<p>このくせ毛野郎!</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集53回配本 ノーベル文学賞作家の原点。心ない一言が僕 を道なる世界へと誘い込む。</p>
<p>新世界文学名作選協賛⑪</p> <p>アンナ、カレーにな…</p> <p>Anna, Curry is ...</p>  <p>新編、文庫版名作映画原画作品集53回配本 魔の贈し物は不倫の対価か? あるは…</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑫</p> <p>少年探偵ダン</p> <p>Boy Detective Dan</p>  <p>新編、世界文学全集第54回配本 少年探偵と伝説の怪盗、知力と情熱に挑む推理合戦。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑬</p> <p>アルジャーノンにはなたを</p> <p>Hatchet for Algeron</p>  <p>新編、世界文学全集第54回配本 文字と共にダンジョンを突破した伝説の勇者の物語。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑭</p> <p>三倍のお札</p> <p>3 times as many cards</p>  <p>新編、世界文学全集第54回配本 数珠の願いことにより無限の札を手にした小僧 と山姥の、絆を結ぶ永遠に続く通算劇。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑮</p> <p>空海のフーケ</p> <p>Bouquet of Kukai</p>  <p>新編、世界文学全集第55回配本 "天才"空海の絆を結ぶことになった秀才の苦闘。</p>
<p>何を入れたんだ?</p> <p>新編、文庫版名作映画原画作品集53回配本 魔の贈し物は不倫の対価か? あるは…</p>	<p>えっへん。</p> <p>新編、世界文学全集第54回配本 少年探偵と伝説の怪盗、知力と情熱に挑む推理合戦。</p>	<p>忘れるな。これがお前の武器だ。</p> <p>新編、世界文学全集第54回配本 文字と共にダンジョンを突破した伝説の勇者の物語。</p>	<p>九枚。</p> <p>新編、世界文学全集第54回配本 数珠の願いことにより無限の札を手にした小僧 と山姥の、絆を結ぶ永遠に続く通算劇。</p>	<p>俺にくれ。</p> <p>新編、世界文学全集第55回配本 "天才"空海の絆を結ぶことになった秀才の苦闘。</p>
<p>新世界文学名作選協賛⑯</p> <p>最低2万はいる</p> <p>at least 20,000 Strabens exist</p>  <p>新編、世界文学全集第55回配本 満洲の数字地獄。 お尋ね書にならうとも、地球のために俺は闘う!</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑰</p> <p>風林花果山</p> <p>Fu-Rin-Mt. Kaku</p>  <p>新編、世界文学全集第55回配本 仏に挑戦した勇達の栄光と挫折。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑱</p> <p>すごい空</p> <p>Ukanny sky</p>  <p>新編、世界文学全集第56回配本 フェイスブックを巡る超絶冒険。 時代を象徴する新感覚SFホラ小説。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑲</p> <p>不美人そう</p> <p>She is not likely to be a beauty</p>  <p>新編、世界文学全集第56回配本 そして彼女は振り向いた。</p>	<p>新世界文学名作選協賛⑳</p> <p>二兎物語</p> <p>A Tale of Two Rabbit</p>  <p>新編、世界文学全集第56回配本 よく似た二匹のうさぎに魅了される青年</p>
<p>うじゃうじゃ。</p> <p>新編、世界文学全集第55回配本 満洲の数字地獄。 お尋ね書にならうとも、地球のために俺は闘う!</p>	<p>岩猿にござる</p> <p>新編、世界文学全集第55回配本 仏に挑戦した勇達の栄光と挫折。</p>	<p>なんだかすごい</p> <p>新編、世界文学全集第56回配本 フェイスブックを巡る超絶冒険。 時代を象徴する新感覚SFホラ小説。</p>	<p>見てから言え。</p> <p>新編、世界文学全集第56回配本 そして彼女が振り向いた。</p>	<p>私を追いかけて。</p> <p>新編、世界文学全集第56回配本 よく似た二匹のうさぎに魅了される青年</p>



第53回 明治大学中央図書館企画展示

高木 亮個展

「きりえや偽本大全～きりえによる名作文学パロディの世界～」

編集・執筆 高木 亮

原作解説 明治大学中央図書館ギャラリー企画運営ワーキンググループ

伊能秀明 鈴木秀子 宮澤順子 吉田千草 梅田順一
仲山加奈子 永田由香利 曾野正士

デザイン 高木 亮

発行 明 治 大 学 図 書 館

発行日 2014年5月13日